



<http://www.jaaso.or.jp/>

JA あそだより

平成27年8月

残暑お見舞い申し上げます



鍋ヶ滝(小国町)

■今号20ページ 主な内容

- 第14回JA阿蘇通常総代会開催
- 生産各部会の動き(生育・出荷・査定会・総会など)
- 食育や地域活動に取り組むJA阿蘇青壮年部・女性部
- 多彩で多様なプログラム展開

「あそっ子スクール」「あそっ娘☆短期大学」

ほかJA阿蘇の情報を満載!



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

役職員一丸となり、再び信頼される健全なJAを目指します！

JA阿蘇の第14回通常総代会が6月24日、総代やJA阿蘇役職員をはじめ管内自治体首長ら多数の来賓を迎え、阿蘇市体育館で開催されました。

開会挨拶の冒頭で、原山寅雄組合長は「組合員に多大なご心配をおかけし、お詫びいたします。役職員一丸となり、再び信頼される健全なJAを目指します」と謝罪しました。

さらに「組合員の負託に応えることを基本としながら、地域住民や利用者に信頼され『安全・安心』な農業の展開、併せて地域経済社会に貢献をすべく、事業の展開を目指し、役職員一丸と



開会挨拶をする原山寅雄組合長

JA阿蘇第14回通常総代会開会
全議案が承認される

なつて取り組んでいきます」と述べました。

来賓祝辞、出席人員報告後、議長に北野悦之氏（南阿蘇村）を選任し、議事に移りました。

議事では、Ⅱ「第1号議案」平成26年度事業報告及び剰余金処分案について、（報告事項）平成26年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について、「第2号議案」平成27年度事業計画及び関連事項について、「第3号議案」農地利用集積円滑化事業規程の変更について、「第4号議案」自己資本充実計画について、「第5号議案」T P P交渉における国会決議の実現に向けた特別決議についてⅡが執行部より提出され、質疑応答が行われた結果、全議案は議案通り承認されました。

尚、総代会開会に先立ち、平成26年度表彰（営農関係者・共済契約高額者・永年勤続者）が行われました。



議長を務める北野悦之氏

写真下Ⅱ平成26年度表彰のひとコマ



「慶祝者20人を表彰」熊本県農林年金受給者連盟阿蘇支部



通常総会で表彰された当日出席の慶祝者（喜寿・米寿）の方々

コンプライアンス（法令遵守）の徹底と職場環境の改善

平成27年3月に不祥事が発覚し、JA全中より「要改善JA」の指定を受けました。再発防止に向けて、平成27年5月に県中央会の指導のもとプロジェクトを編成し「不祥事再発防止策」を策定し、平成27年7月より取り組みを開始しています。不祥事再発防止策の着実な実践を通じて、信頼回復のために全力を注ぐとともに、職場づくりと職員の育成に役職員一丸となって取り組ましますので、組合員・利用者の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

総会後は県農林年金相談員の米村身一さんの講演があり、一時払い制度についての説明も行われました。

念品が贈られました。

井一男支部長（写真Ⅱ右）は「特例年金制度の維持と受給者の生活安定を図る活動をはじめ、会員の加入促進・連盟組織の強化等を重点的に取り組んでいきたい」と挨拶。15年度慶祝者の喜寿9人と、米寿11人の方々に表彰状と記念品が贈られました。



熊本県農林年金受給者連盟阿蘇支部は6月29日、阿蘇市で会員や役職員ら57人が参加して第39回通常総会を開き、2014年度活動報告や2015年度活動計画など全4議案を承認しました。

生産各部会の活動状況＝「阿蘇いちご部会」「高森メロン部会」「白水メロン部会」

中部・南部両いちご部会
『阿蘇いちご部会』としてスタート
販売目標額は5億5000万円



新たに選任された役員を紹介し、挨拶をする大津新部会長（右端）

JA阿蘇中部および南部の両いちご部会は6月26日、総会と合同反省会を行い、引き続き「阿蘇いちご部会設立総会」を開催しました。

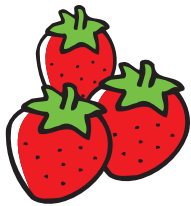
これまで中部、南部の両いちご部会では合同でいちご生産協議会を立ち上げ、2元集荷1元販売や部会事業等も協議会を中心に活動してきました。当日、新たに発足した新部会の会長

には大津裕樹さんが就任。大津新会長は就任の挨拶で「これからは新部会のスタートとなり、皆様のますますのご協力をお願いいたします。先ずは皆様の圃場の場所から勉強していきます」と抱負を語りました。

今後は、「阿蘇いちご部会」としての販売ロット拡大、品質統一を図ることと有利販売につなげ「阿蘇いちご」のブランド確立に向け、一層の生産販売の強化を図る計画です。

阿蘇いちご部会の平成27年産計画は栽培戸数48戸、栽培面積12.5ha、販売金額は5億5000万を計画しています。

指導担当の江藤秀晃職員は「今後は品質の統一化を図り、有利販売につなげる上で生産から販売までの情報の共有化が重要になってくるので、現場巡回を通して出荷計画を販売担当につなげたい。また、指導面については適期に講習会を開催し、技術向上を図り、平均反収4.5tを目標に取り組みたい」と語っていました。



赤肉メロン「レノン」
好評のうちに6月末で出荷終了



赤肉メロン「レノン」出荷作業

高森メロン部会の赤肉メロン「レノン」の出荷は、今季も5月下旬より6月末まで続けられました。高森地区は阿蘇メロンのリレー販売を締めくくる最後の地区で、他産地との違いを出すために赤肉メロンの生産に力を入れ、その市場評価は年々高まっています。

今年 は定植直後の朝晩の冷え込みや天候不順により、やや小玉傾向の肥大でしたが、品質は良好で糖度も15度以上と例年に負けない仕上がりでした。

販売担当の森谷峻職員は「赤肉メロンの魅力を多くの方に味わって頂きたいと思う。これからも安全安心な高品質のメロンを消費者に届けたい」と話していました。

最盛期には日量150～200ケース（1ケース5kg）が出荷され、6月下旬までに約6000ケースが出荷されました。

「場外ホームランメロン」
6月よりの「産直限定販売」終了



白水メロン部会の期間・数量限定の「場外ホームランメロン」出荷が今年も6月5日から始まり、好評のうちに終了しました。

「場外ホームランメロン」は、同部会が有利販売を行うためのオリジナル規格で、栽培方法は通常は1株に6個の着果を3個に制限し、果実が肥大し大玉で甘いメロンを作ることが可能となりました。大きいものでは1玉2kgを超えるものもあり、「場外ホームランメロン」の顧客は年々増えています。

メインは贈答用で、出荷時には生産者の顔写真入りのカードが同封され、メロンが出来るまでの過程や食べ頃の目安が写真入で説明されています。例年同様、今季も南部野菜センターで取り扱う数量が制限されており、大半が生産者からの直送となりました。

生産各部会の活動状況＝「中部キュウリ部会」「スナップエンドウ」「西原里芋部会」

夏秋キュウリ11月まで出荷
中部キュウリ部会

6月初めキュウリを収穫する市原さん

JA阿蘇中部キュウリ部会は6月1日よりキュウリの出荷を始めました。2015年産は生産者9人(前年同)で作付面積1.4ha(前年比96%)、品種は「ちなつ」「兼備2号」「エンペラー2号」「フェアリー」の4品種です。今年は4月下旬より定植が始まり、5月中旬ピークとなりました。

取材時(6月初め)、初出荷を迎えた生産者の市原久美子さんは「今年は日中が高温で推移し、温度管理や樹勢管理が難しかったが、例年並みの出荷を迎えることが出来た。まだシーズンが始まったばかりだが、最後まで管理を徹底し、最高のシーズンにしたい」と抱負を語っていました。

出荷は11月末まで予定され、販売数量115t(前年比104%)、販売額3000万円(前年比104%)を計画しています。

新規品目「スナップエンドウ」
夏秋トマトとの連携作型確立へ
Ⅱ阿蘇南部地区Ⅱ

阿蘇南部地区ではさらに生産者の所得向上を図ろうと、2015年から新規品目のスナップエンドウの作付けを本格的に始め、夏秋以外の期間での安定収入確保に成果を上げています。

夏秋産地である阿蘇地域の主幹品目は夏秋トマトですが、これまでトマトの定植(3月)から出荷(6月初め)までの期間は収入が見込めませんでした。スナップエンドウはその期間を埋め6月末まで収穫できることから、収入が見込める品目として期待されています。収穫後は後作として夏秋トマトの作付けに移ることができます。

スナップエンドウ作付けは、若手農

指導員の江藤秀晃職員は「今年は品種が増えたこともあり、適期に現地講習会を開催し、管理に遅れがないよう指導に努めたい」と話していました。

業者の規模拡大や雇用確保のため、園芸課指導係の古澤勝己職員が管内生産者へ呼びかけ、現在20人の若手農業者が「スナップエンドウ生産研究会」を立ち上げ、栽培管理など模索しながらも作付けに挑戦しています。

生育は良好で心配された病害虫の発生も少なく、高温の影響で樹勢低下が見られましたが、全体の出荷量は8500kg(計画比85%)となっています。

古澤職員は「トマト栽培と同じ資材を使いコスト的に取り組みやすい。軽量作物で体力的な負担が少なく、収穫後は後作のトマトの密植栽培に取り組めるので、今後は両品目が一体となった産地作りをしていきたい」と話しています。(写真右上Ⅱスナップエンドウの収穫作業Ⅱ6月上旬撮影)

2015年産の基本方針確認
役員改選と優秀者表彰も行う
Ⅱ西原里芋部会総会Ⅱ

西原里芋部会は6月30日、生産者ら約40人が出席し西原支所で2014年度総会を開きました。総会では14年度事業報告など6議案を承認しました。

内田稔部会長は「市場との意見交換を行いながら販売強化に取り組みと同時に、安全安心な作物を消費地へ届けられるよう生産者一丸となって頑張ら

う」と挨拶。情勢報告では出荷市場担当者が「販売高1億円を目指し、産地と消費地が一体となっていきたい」とと檄を飛ばしました。

同総会では部会役員の改選と成績優秀者表彰(敬称略)も行われました。

【新役員】部会長Ⅱ内田稔、副部会長Ⅱ東義秋、会計Ⅱ緒方円雄

【成績優秀者】販売高部門(農協表彰者)1位Ⅱ藤森徳次、2位Ⅱ東洋一、3位Ⅱ山下一義／計画出荷部門(部会表彰者)1位Ⅱ野田幸信、2位Ⅱ藤田浩康、3位Ⅱ岩木司



成績優秀者表彰のひとコマ

生産各部会の活動状況＝「西原甘藷部会」「南部なす部会」

産地イメージ作りへ販促強化を
成績優秀者表彰も行う
＝西原甘藷部会総会＝

西原甘藷部会は7月10日、西原村で2014年度総会を開きました。当日は生産者ら約80人が出席しました。

総会では2014年度事業報告等5議案が承認、可決されました。広瀬国昭部会長は挨拶で「品種の絞り込みをしていくと同時に、安全安心な品物を生産者一丸となつて作っていききたい」と抱負を述べました。

14年産について、生産面では丸イモ対策への試験圃場設置、販売面では規格外品の加工業者への販売や注文契約による単価向上などへの取り組み、販売ルート拡大による安定販売の確立ができたこと。15年産については、品種特性に見合う栽培管理の徹底、計画的な出荷による有利販売、販売の多様化、販売促進活動による産地イメージ作りなどに取り組んでいくことを基本方針と

して確認しました。

総会に先立ち、成績優秀者表彰(敬称略)も行われました。

▽販売高部門1位 村上睦郎、2位 前鶴義博、3位 岩木司

▽平均単価部門1

位 森井正孝、2位 秋吉隆、3位 松浦茂

次 (写真上 挨拶をする)

広瀬国昭部会長、写真下 成績優秀者の表彰

ヒゴムラサキ、今年末まで出荷
安全・安心栽培で高い市場評価
＝南部なす部会＝

南部なす部会では6月から「ヒゴムラサキ」の本格的な出荷が始まっています。同部会長の桐原勝幸さんのハウスでも4月下旬までに定植したものが収穫されており、大きい果実で長さが約30cmと品質も例年に負けない出来上

ヒゴムラサキ、販路拡大は
仲卸業者の方々へのPRから！
地元市場で試食宣伝会を実施

南部なす部会は6月12日、特産「ヒゴムラサキ」の試食宣伝会を熊本大同青果(熊本市西区)で行いました。

この試食宣伝会は、量販店などに大量に納める仲卸業者にヒゴムラサキの美味しさをPRすることで、新たな販路拡大を確保することを目的としています。当日は桐原勝幸部会長ら生産者3人が参加し、朝競りに合わせて試食宣伝会を行い様々なレシピも紹介しました。試食した仲卸業者からは「生で

りとなっています。

「ヒゴムラサキ」は10年前から高森地区の特産品として導入されて以来、市場や消費地の評価も高く、リピータも増えています。今年も天敵昆虫のスワルスキー導入面積を増やし「安全・安心」な栽培に取り組んでいます。

桐原部会長は「安全・安心なナスを消費地へ届けていくと同時に、ヒゴムラサキの美味しさも知ってほしい」と話しています。出荷は12月末まで主力の県内を含め、東京・名古屋・福岡などの都市圏に向けに行われます。(写真上 収穫作業をする桐原部会長)

食べても美味しいが、多様な調理方法があることを知って、さらに美味しく食べることができた」と好評でした。

桐原部会長は「先ずは買い手にヒゴムラサキの味を知ってもらうことが大事。そして、小売店などへつなげてもらいたい」と今回の手応えを語り、販売担当者の森谷峻職員も「地元での知名度がまだ低いので、試食宣伝会を通してこの美味しさと同時に、ヒゴムラサキという名前も定着させていきたい」と、今後の課題をあげました。



ヒゴムラサキの試食宣伝会を行う関係者

生産各部会の活動状況＝「南部なす部会」「トルコギキョウ花だより」

目標販売高5285万円！
更なる連携強化と高品質確保を
＝南部なす部会出荷査定会＝



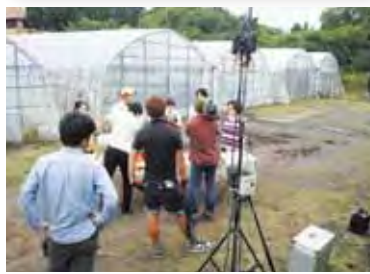
写真上＝挨拶をする桐原部会長
写真中＝JA職員による等級の確認
写真下＝査定会に出席した生産者の皆さん

南部なす部会は6月23日、2015年産出荷査定会を高森中央支所で開き、生産者ら約40人が参加しました。

本年産の出荷は5月下旬より始まっていますが、査定会では市場関係者とJA販売担当者が一緒になって等級の確認を行いました。市場側からは「売れる商品作りを意識して毎日出荷してほしい」などの要望がありました。

また、高品質維持対策として、生産者と市場担当者との意見交換を密にしてい、選別徹底や目慣らし会を定期的に行うことなどが話し合われました。

今年は12月まで出荷計画が立てられ、3万2500ケース（1ケース7kg）、5285万円の売上を予定しています。同部会では産地情報をいち早く

ヒゴムラサキの美味料理を
テレビ生中継でアピール！

南部なす部会は7月2日、KKTの「テレビタミシ」で高森特産「ヒゴムラサキ」をPRしました。

当日は高森町の三森伸治さんのハウ

届けるため、写真付きの生育状況に過去の出荷データや近況の等級比率を記入した「産地概況報告書」を定期的に作成し、市場へ送信しています。

「トルコギキョウ」花だより

8月下旬～11月上旬出荷ピーク
さがる産地確立を目指す

＝中部地区＝

JA阿蘇中部地区では、トルコギキョウの出荷が6月上旬から始まり、ピークの8月下旬から11月上旬を経て来々年1月まで、九州管内を中心に出荷されます。本年の生産者数は15戸（前年比106%）、生産数量は約90万本（実績比103%）、生産額で約1億円（実績比105%）を見込んでいます。

同管内では2012年度より熊本県の新技術（芽摘み・RTF苗・電照）を導入。高品質なトルコギキョウ生産を行うため、研修会や現地検討会等を開いて、生産者の栽培技術向上を図り「阿蘇トルコギキョウ」のブランド化を目指してきました。品種はサカタ・タキイ・

スからの生中継で、ヒゴムラサキの生産状況や女性部によるヒゴムラサキを使った料理も一緒に紹介しました。

試食したレポーターは「生でも調理しても美味しく、今までに味わったことがない食感」と絶賛していました。（写真上＝番組リハーサルのひとつ）

カネコの中生・中晩生品種が中心で種類は40品種を超えています。

阿蘇市一の宮町で栽培を16年行っている鳴川孝宏さんは「トルコギキョウは毎年のように技術が進み、より品質の良い物が市場でも求められている。今後栽培技術を磨き、熊本県花卉協会・JAグループトルコギキョウ専門部会が開催する研修会や講習会等にも積極的に参加し、JA阿蘇管内の生産者と生産情報を共有し、さらなる産地確立を目指し頑張りたい」と抱負を語っていました。



定植作業に追われる生産者（7月9日撮影）

生産各部会の活動状況＝「トルコギキョウ」「阿蘇高原りんどう」「中部トマト部会」

県内では有数の夏場産地
8月上旬まで定植作業続く
＝白水地区＝



白水地区では、6月下旬から7月にかけてトルコギキョウの定植のピークを迎え、8月上旬まで作業が行われます。取材時（6月初め）、定植作業をしていた部会長の住吉昭一さんは「定植作業もスムーズに進んでおり、今後の生育に期待したい」と語っていました。

同地区のトルコギキョウは、草丈・輪数とも十分にあることで他産地よりも品質が良いとされており、夏場の県内有数の産地となっています。

指導担当の堀畑善美職員は「引き続き定植後の栽培管理に重点をおいて指導をしていきたい」と話していました。

2015年産の白水地区トルコギキョウ作付面積は2.5ha（前年同）、生産者10人（同）となっています。（写真右＝定植作業をする住吉昭一さん）

寒暖の差を利用し
高品質のトルコギキョウ出荷
＝波野地区＝



最終芽整理を行う工藤さん（6月2日撮影）

阿蘇市波野地区では、冠婚葬祭の需要で最も利用が多いトルコギキョウの出荷が6月上旬より始まっています。同地区は標高約750m、寒暖の差を利用した高品質なトルコギキョウ等の花卉産地として市場でも有名です。

同地区では栽培農家4戸、栽培面積95a、計画出荷本数30万本（前年比105%）、計画販売金額3750万円（前年比115%）で、11月末まで九州管内中心に出荷される予定です。

生産者の工藤富之さんは「今年はボリュームある高品質のトルコギキョウが出来た。今シーズンも天候や病害虫に注意し消費者に喜ばれるトルコギキョウを出荷したい」と語っていました。

「阿蘇高原りんどう」出荷！
＝一の宮町萩の草地区＝



一の宮町萩の草地区では、熊本県花でもある阿蘇高原りんどうの出荷が6月下旬より始まっています。同地区は標高約780mにあり、年間を通して冷涼な地域で積算気温が比較的低い高品質なりんどうに仕上がりが、九州一の生産量を誇っています。

りんどうの栽培は40年程の歴史があり、品種は早生系・中生系・中晩性系・晩生系です。本年の初出荷分（早生系）は品質良くボリュームがあります。

現在、栽培農家戸数は7戸、栽培面積6.4ha、計画出荷本数80万本、計画販売金額4500万円（前年比110%）となっており、11月上旬頃まで九州管内を中心に出荷。ピークは8月（盆）と

9月（彼岸）となっています。
生産者の後藤雪男さんは「今後も防除や管理をしつかり行い、高品質りんどう出荷を目指し頑張りたい」と語っていました。販売担当の酒井正光職員も「市場への情報提供をしつかり行い、優位販売を目指し計画出荷額を達成できるよう頑張りたい」と意気込んでいました。（写真＝出荷の調整をする後藤さん夫妻）

販売目標は12億7000万円
＝中部トマト部会出荷査定会＝



中部トマト部会は6月4日、一の宮中央支所に生産者・行政・市場関係者ら約160人が出席し、2015年産夏秋トマト出荷査定会を開きました。
15年度は作付面積36・3ha（前年

※次ページに続く

生産各部会の活動状況＝「中部トマト部会」

※前ページより続く
比98%)、生産者数143戸(同97%)、出荷計画106万ケース(1ケース＝4kg)で、12億7000万円の販売金額を見込んでいます。

山本清五部会長は「昨年は部会創立最大の出荷量となった。本年度も部会の目標を達成できるよう力を合わせて頑張りました」と挨拶しました。

販売担当の松田浩幸職員は「本年は4月の長雨により生育不良が心配されたが、定植後は天候にも恵まれ順調な生育を見せている」と、販売目標額達成への手応えを語り、指導員の宮崎大智職員も、「今後は、天候に左右されない樹勢維持栽培管理方法と病害虫の初期防除の徹底を重点指導したい」と意気込みを語っていました。(写真上＝出荷査定会で挨拶をする山本清五部会長)

トマト栽培歴40年の岩下さん 先陣切って初出荷を迎える

阿蘇市管内では6月3日より夏秋特産トマトの出荷が始まりました。阿蘇市の岩下繁成さんの37aの圃場では中部トマト部会の先陣を切って初出荷を迎えました。

岩下さんはトマト栽培40年目となり、部会の中でも大ベテランです。岩下さんは「例年同様、良いスタートとなっ

阿蘇高原トマト 7月出荷ピークを迎える



選別作業に追われる作業員のみなさん

九州最大の夏秋トマト産地であるJ A阿蘇の中部トマト部会では、7月1日に出荷ピークを迎え、取材時(7月中

た。病害防除と肥培管理を中心に11月下旬まで出荷を続けたい」と抱負を語っていました。



出荷作業に追われる岩下さん

旬)日量1万ケースを九州管内に出荷しています。栽培品目は「りんか409」です。指導員の宮崎大智職員は「生育の進みや品質の問題もなく、前年度と変わらない安定した出荷になる見込み。台風対策を万全に、夏場の出荷に備えたい」。

また販売担当の松田浩幸職員も「品質・玉太りは良好だ。今後もし出荷量は増える見込みなので、攻めの販売を行いたい」と、それぞれ出荷にも万全を期したいと語っていました。

阿蘇高原トマト「消費宣伝会」 福岡・熊本計8店舗で開催 ＝中部トマト部会＝

中部トマト部会は、消費拡大のため「阿蘇高原トマト消費宣伝会」を7月1日から同11日まで福岡・熊本の計8店舗で開催しました。同キャンペーンでは部会女性部が消費者へおいしさを直接PRし、同時に試食販売やレシピの配布も行いました。

キャンペーンでの売上は上々で、消費者からは「身がしまって大きくて甘い」「さっぱりしている」「懐かしい味」などと高評価が寄せられていました。

キャンペーンに参加した部会女性部員の一人は「阿蘇トマトのリピーター

が多く、産地としての力を再認識できた。これからも産地の特徴や強みを全面に打ち出していき、おいしいトマトの生産に頑張りたい」と、感想を語っていました。



量販店で行われた「阿蘇高原トマト消費宣伝会」で試食PRをする部会女性部

生産各部会の活動状況＝「南部トマト部会」「中部ミニトマト部会」「白水ミニトマト部会」



南部トマト部会は6月12日、生産者やJA・市場関係者ら約100人が出席し、2015年産出荷査定会を南阿蘇村で行いました。

査定会に先立ち、浅尾継也部会長が「1kg詰めの出荷形態への取り組みや農業を取り巻く環境は厳しいが、生産者一丸となつて前年度実績を上回りました」と力強く挨拶しました。

今年は果形の乱れもなく順調な生育となっており、南部野菜センターでは6月中旬よりトマトの選果・出荷が始まっており、7月下旬に出荷ピークを迎えました。

取材時（6月中旬）の日量は約150

目標販売高6億円
産地情報の精度向上めざす
＝南部トマト部会出荷査定会＝

0ケース（1ケース4kg）で、県内を中心に九州各県及び中国地方へ出荷されています。同施設はカラーセンサー付き選果機を導入しており、高度な選果・規格の均一化による高品質な出荷で年々市場評価が高まっています。

販売担当の田上伊織職員は「今年も美味しい阿蘇トマトを消費地に自信を持って届けられている」と力強く話していました。同部会では圃場ごとに土壌分析を行い、その結果に応じて必要な量だけを施肥することで無駄なコストを省いています。

15年産作付面積は19.4ha（前年比88%）、栽培戸数70戸（同95%）で、11月まで出荷を行い出荷数量46万2000ケース、販売高6億円を計画しています。

写真＝選別を行う作業員（6月下旬撮影）

品質良好！阿蘇高原の夏秋ミニトマト出荷中！



ミニトマトを収穫する小井手さん

阿蘇市管内で6月1日より夏秋特産ミニトマトの出荷が始まっています。阿蘇市の小井手信夫さんの6aの圃場では当日、中部ミニトマト部会の先頭を切つて初出荷となりました。品種はサカタ種苗のキャロルスターで4月上旬から定植が始まり、安定しない天候で推移したため生育の遅れやバラつきに不安がありました。生産者の努力で順調に生育しています。

小井手さんは「今年は例年に比べ定植期からの日照不足により10日程収穫が遅れたが、今後も気候変動に負けない樹勢・肥培管理を維持し、安定出荷に努めていきたい」と抱負を語っていました。収穫品は2しししを中心で玉肥大

は良好で、7段目の花房まで安定した花房になっており、今後の出荷量が期待されています。

指導員の笹原祥樹職員は「今後も樹勢維持及び出荷調整指導にさらに努めていきたい」と話していました。

中部ミニトマト部会出荷査定会
目標販売額を8000万円へ



出荷査定会で挨拶をする小西孝浩部会長

中部ミニトマト部会では6月11日、生産者や行政、市場関係者ら約30人が参加し、阿蘇町中央支所で2015年産夏秋ミニトマト出荷査定会を開きました。

今年は4月の長雨により生育不良が心配されましたが、定植後は天候にも

※次ページに続く

生産各部会の活動状況＝「中部ミニトマト部会」「白水ミニトマト部会」



現地の栽培ハウスで目慣しを行う生産者ら

※前ページより続く

恵まれ順調な生育を見せており、出荷量に期待が高まっています。

15年度は作付面積3.1ha(前年比150%)、生産者数18戸(前年比130%)、出荷計画は5万3千ケース(1ケース≒3kg)で8千万円の販売金額を見込んでいます。

小西孝浩部会長は挨拶の中で「昨年度は部会計画反収の達成ができた。本年度も部会員全員で栽培技術の向上と安心安全な品物を消費地へ届けるため、一生懸命をモットーに頑張ります」と、市場拡大へのアピールを述べました。

査定会終了後は現地の栽培ハウスに移動して市場・部会員全員で目慣し会を行い、意識統一の向上を図りました。

**販売高目標1億3000万円
名実ともに夏秋ミニトマトの
リーダー産地を目指す**

白水ミニトマト部会

白水ミニトマト部会は6月19日、2015年産出荷査定会を南阿蘇村で開き、生産者をはじめ関係者ら約50人が参加しました。当日は本格的な出荷の前に、各等級や出荷要領の確認を行いました。

査定会を前に足立輝晃部会長が「今年も安全安心な阿蘇のミニトマトを消費者に届けていきたいので、部会一丸となつて取り組んでいきましょう」と挨拶しました。

販売基本方針として、名実ともに夏秋ミニトマトのリーダー産地となるべく、品質の安定と生産量の確保に努め、安定供給できる「力のある産地」作りを掲げました。

本年産の生育状況としては、昨年のような極端な冷え込みもなく生育初期は順調で、梅雨時期の日照不足による生育や熟れ方の遅れが懸念されていますが、早い作型では8〜9段花房開花期(取材時)を迎えています。

担当の古澤勝己職員は「これからは着果負担がかかる時期にもなってくるので、灌水や追肥など樹勢維持に重点

を置いて指導していきたい」と語っていました。

同部会は、過去に県野菜振興協会より団体功労賞を受賞しており、長年にわたり高品質の商品を出荷し市場からも高い評価を得ています。今年は11月まで出荷計画を立てており、出荷数量は95万パック(1パック200g)、販売金額は1億3000万円を予定しています。本年産の作付概況は生産者18人(前年比86%)、作付面積4.6ha(同90%)となっています。

白水ミニトマトの美味しさPR
くまモン満足のミニトマト料理

白水ミニトマト部会は6月、阿蘇地域世界農業遺産推進協会のface bookで「白水ミニトマト」の美味しさを伝えました。これは同協会が阿蘇の農産物を多くの人に知ってもらいたいという目的で阿蘇の市町村を周り、旬な農産物や物産館などを紹介するものです。

6月23日は「くまモン」も訪れ、南阿

蘇村のマスコット「かなばあちゃん」と一緒にPR活動をしました。

取材は後藤亜希さんのハウスで行われ、同部会の足立輝晃部会長から白水ミニトマトの説明が行われました。

また女性部によるミニトマトを使った料理の紹介もあり、串刺しで焼いたミニトマトやデザート感覚のレシピなどが紹介されました。

白水ミニトマト部会ではマスコミによる広報活動にも力を入れており、当日も併せてテレビや新聞によるPR活動も行いました。

足立部会長は「他産地に負けない美味しい安全安心なミニトマトを作つて、これからも消費者に届けていきたい」と抱負を語っていました。



写真上下=生産者からミニトマトの説明を受ける「くまモン」と「かなばあちゃん」

今季、2回目「まるごとあそっ子スクール」開催

玉名市岱明町松原海水浴場で

総勢100人で地引網に挑戦！ 昼食はシャクの唐揚げ、アサリ汁など堪能

7月11日、「まるごとあそっ子スクール地引網体験ツアー」が玉名市岱明町の松原海水浴場で行われました。

地引網保存会代表の植田一馬さんらの協力で、今回は前年を上回るあそっ子とその保護者ら約100人が参加しました。地引網は明治時代から伝わる伝統漁法で、小型舟を用い1400m程に網を仕掛け、一斉に網を引く漁法です。

早朝、阿蘇を出発した元気いっぱいのあそっ子らは現地に着くと、みんなで協力し合って地引網を力いっぱい引っ張りました。いざ、魚の入った網が上がると割れんばかりの歓声が沸き上がりました。

昨年も地引網体験に参加した早田虎太郎くんは、「雨が降ったけど去年より大物がとれて嬉しい。捕れた魚を家で食べるのが楽しみ」と喜びをあらわにしていました。

当日は、地元JA女性部の協力で、あそっ子らは地元食材を使ったシャクの唐揚げやアサリ汁を堪能しました。あそっ子らは、「阿蘇ではなかなか食べられない物が食べられて嬉しい」と、感想を口々にしていました。

次回のあそっ子スクールは、南小国町で「あそっ子キャンプ」を行う予定です。



ランチは、新鮮な魚介類を使ったメニュー



みんなで力を合わせて、ぞ〜れッ！、引け〜ッ！



大きな魚もゲット！



写真は、「地引網に挑戦した」あそっ子らの楽しかった思い出のひとコマから

JA阿蘇女性部、各地域で多彩な活動を展開

「生活にもっと花を取り入れましょう！」
花苗の寄せ植え教室＝女性部南阿蘇支部

J A阿蘇女性部南阿蘇支部は5月26日、部員ら32人が参加して南阿蘇村で花苗を利用した寄せ植え教室を開きました。これは生活の中に花を取り入れ、普段とは違う環境を作り、心身ともにリフレッシュすることを目的に開催されました。

恵良妙子支部長は開催にあたり「忙しい農作業の合間に花に触れることで一息ついてほしい。また、部員同士の交流の場になれば嬉しい」と挨拶をしました。

当日は女性部担当の今村千春職員を講師に、花苗5種類を大きめの鉢に寄せ植えました。寄せ植える際は鉢の中央部分は開けておくことや、植え替えるときに咲いている花は摘み



写真上＝教室に参加した皆さん
写真下＝寄せ植えを作る女性部

取るなどポイントの説明がありました。参加者からは「今までではただ植え替えていただけだったので勉強になった」「学んだことを生かして、自宅でもたくさん作ってみようと思った」などの感想が聞かれました。同支部では11月頃に、正月用のフラワーアレンジメント教室を開く予定です。

『あそっ娘☆短期大学』開講
夏メイク講座を開催

J A阿蘇営農部は6月23日、第4期生となる2015年度「あそっ娘☆短期大学」の開講式を行いました。式には入校生とJA関係者約50人が出席。



写真上＝夏メイクの方法を受けるモデルのあそっ娘
写真下＝あそっ娘☆短期大学に入校した皆さんとスタッフ

入校生を代表して工藤久恵さんが「この1年間、あそっ娘☆短期大学で交流を深め、学んだことを持ち帰り地域の活性化につなげたい」と挨拶しました。当日は第1回目のカリキュラムとしてWin g 14の幸治優子氏を講師に、これからの時期に役立つ「夏メイク講座」を行いました。あそっ娘（参加者）をモデルに、メイク時のワンポイントアドバイスやテクニックなどの実習が行われました。

モデルに選ばれたあそっ娘は「ナチュラルメイクでとても軽い感じ。これなら私にもできる」と感想を述べていました。

あそっ娘短大では、女性同士の仲間作りを目指して年間5回のカリキュラムを行い、次回は9月にD I Y講座を行う予定です。

女性部小国郷支部
『しあわせエンディングノート』
テーマに研修会を開く

『しあわせエンディングノート』の
講演を聴く女性部小国郷支部の皆さん

J A阿蘇女性部小国郷支部は6月26日、小国郷斎場で部員約30人が出席して支部研修会を開きました。

研修では、講師の家の光協会の上床龍吾氏が『しあわせエンディングノート』というテーマで講演をしました。

このエンディングノートとは、各自自身が歩んできた人生を振り返るための

※次ページに続く

JA阿蘇青壮年部、JA阿蘇営農部、地域活動や食育活動を展開！



湯灌（ゆかん）の実演講習

※前ページより続く

ノートであり、このノートで家族や友人への感謝の気持ちや自分の希望や意思を伝えることで、幸せなエンディング（最期）を迎えることができる」と説明がありました。また、湯灌（ゆかん）の実演講習も行われました。

今回の研修会は小国郷斎場が昨年12月にオープンしたことに伴い、以前から要望があっていた「エンディングノート」の講演と合わせて開かれたもので、支部事務局の橋本さんは「参加した部員さんからは、わざわざ行かない斎場の見学や湯灌の説明も聞けて、とても良かった」との声がありましたと、話していました。

「地域の景観を守ろう」
環境美化で除草作業を行う
JA阿蘇青壮年部一の宮支部



JA阿蘇青壮年部一の宮支部は7月7日、地域の景観を守ろうと今回はJA阿蘇直売所「四季彩いちのみや」敷地内の除草作業を盟友18人で行いました。この活動は、毎年4月から10月までの雑草が多く繁る時期に9年前から続けており、盟友個々が共同作業をすることにより連帯感と親睦が深められるなどの目的で行われています。

作業開始にあたり、石松秋洋支部長が「今回も多く盟友が集まってもらいありがとうございます。地域のために良い汗を流しましょう」と挨拶。盟友らは早速、作業に取り掛かりました。

20歳代の盟友は「作業の合い間には、先輩の盟友に自分の農業経営のことなど気軽に相談が出来たりできるので、このような機会を今後も活かしていきたい」と語っていました。



写真上＝除草作業を行う盟友ら
写真下＝JA阿蘇青壮年部一の宮支部の盟友

「ナスの栽培管理」について
長陽中学校2年生へ出前授業
JA阿蘇営農部園芸課

営農部園芸課は6月5日、南阿蘇村立長陽中学校2年生の「技術」で出前授業をしました。当日は授業で取り組んでいる「ナスの摘芽作業と病害虫管理」について、園芸課指導係の後藤真智職員が授業をしました。

授業の中では、ナスの歴史や花言葉なども紹介し、また病害虫管理では農薬を減らすために利用している天敵昆虫についても説明しました。

天敵昆虫の話聞いた中学生らは



「そんな虫がいることを初めて知った。実物を見てみたい」などと興味津々の様子でした。

後藤職員は「今後も生育の段階ごとに天敵昆虫の誘引の仕方などを説明し、アドバイスしていきたい。また、地元の子供たちに阿蘇の農業や食べるものの大切さを教えていけるいい機会なので、今後も要請があれば応じたい」と話していました。（写真左＝ナスの栽培等について「出前授業」をする後藤職員）

JA阿蘇青壮年部、食育活動を展開！

南阿蘇西小4年生と野菜作り
JA阿蘇青壮年部長陽支部

JA阿蘇青壮年部長陽支部は7月2日、南阿蘇村立南阿蘇西小4年生と一緒に、食育活動の一環として野菜作りを始めました。この食育活動は本年度より初めて行う試みで、野菜作りを通して農業と食べ物大切さを知ってほしいという目的です。

当日は小学校に隣接する旧長陽保育所の畑の除草作業やマルチ張り等を行いました。この畑は今年3月末までは



写真上＝作業終了後に記念撮影
写真下＝作業をする子供たち

保育所の畑として使用されていましたが、保育所の統合により空地となっており、盟友らが荒廃するよりも跡地の有効利用として、小学生との食育活動に使いたいと保育所に申し出て今回の活動につながりました。

作業前に青壮年部盟友より作業手順などの説明があり、除草・畝作り・マルチ張りをしました。一緒に作業をした子供たちは「初めての農作業だったが、お兄さんたちが優しく教えてくれたので楽しかった」と喜んでいました。

塚元健太郎支部長は「作物を作り、食べることで、食べ物の有難さや農作物を作る農家の大変さを知る一方で、収穫する喜びを少しでも分かてほしい」と話していました。

今後はトマト・ミニトマト・キュウリなどを定植し、それらを取穫してピザ作りなどしたいと計画しています。

JA阿蘇親善野球大会
「阿蘇町チーム」が優勝！
準優勝は「高森チーム」

県JA親善野球大会予選を兼ねた第13回JA阿蘇親善野球大会が6月20日、7チームが参加し小国町の林間広場で行われました。熱戦の結果、阿蘇町チームが優勝を果たしました。

開会式では原山寅雄組合長が「業務終了後で思うような練習が出来ていないと思うが、最後まで楽しくプレーして下さい」とあいさつ。選手を代表し長陽チームの宮崎裕介選手が力強く選手宣誓をしました。

阿蘇町チームは1回戦を西原・久木



写真上＝優勝の「阿蘇町」／写真左＝選手宣誓の宮崎選手／
写真下＝準優勝の「高森」



野チームに6対0で勝利し、2回戦は前年度優勝の長陽チームに11対4の大差で勝利。決勝戦では高森チームと対戦し、初回に3点を先取、中盤以降にも得点を追加し7対0で勝利し、県大会への切符を手に入れました。

厚生連ニュース

熱中症にご注意を！



熱中症は、屋内・屋外を問わず高温や多湿等が原因となって起こります。日射病とは違い、室内でも発症するケースが多く、年々増加傾向にあります。症状としては、めまい・吐き気、失神・頭痛・体のだるさなどがあり、重症例では死亡することもあります。体に異常を感じたらすぐに医療機関を受診しましょう。

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！
以下の点に注意しましょう。

水分・塩分補給

暑い時期は水分が失われやすいので、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給をしましょう。また、大量の汗をかく場合は水分と同時に塩分も補給しましょう。



室内環境を整える

扇風機やエアコンを使用し室温を調整しましょう。

室温が上がりにくい環境を確保しましょう。（こまめな換気、すだれ、遮光カーテンやブラインド、打ち水など）

服装を工夫する

汗がすぐ乾くような、吸湿性や通気性の良い衣服（麻や綿）や速乾性のものを選びましょう。また、帽子をかぶったり日傘をさしたりしましょう。



体調管理

疲労や体調不良が、熱中症の発生のリスクを高めます。寝不足や食生活が乱れないように、日頃から体調管理を怠らないようにしましょう。

熱中症になった時の処置は…

1. 涼しい場所へ避難させる

クーラーの風が直接当たる場所は、皮膚から水分が失われ脱水が進んでしまう場合があるので注意しましょう。

2. 衣服を緩め、靴を脱ぎ水や濡れたタオル等で身体を冷やす

氷などの準備ができれば、首・脇の下・太ももの付け根などにあてて冷やすと体温を下げるのに効果的です。

3. 水分・塩分を補給する

水分補給にはスポーツドリンクや少量の塩を加えた水などが効果的です。

自力で水を飲めない、意識がない場合は、**直ちに119番通報**をしましょう！



熊本県厚生連診療所

所長 菅 正康

TEL : 096 (328) 1083 FAX : 096 (328) 1258

ナラシ対策(米・畑作物の収入減少影響緩和対策)とは

米価等が下落した際に収入を補てんする保険的制度です。

(1) 対象者

平成27年産から、認定農業者、集落営農、認定新規就農者が対象（規模要件はありません）

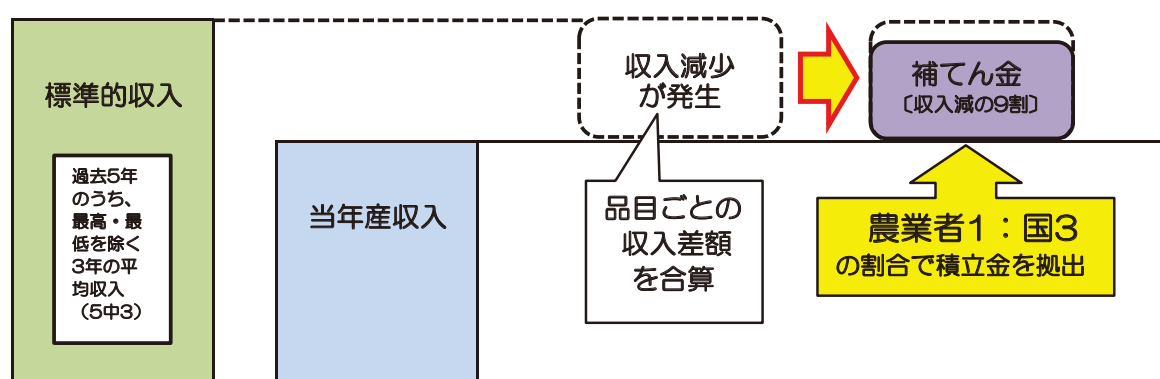
(2) 対象品目

米のほか、麦、大豆、てん菜、でん粉原料ばれいしょ

(3) 補てん額

当年産の対象品目の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合にその差額の9割を、国からの交付金と農業者の積立金で補てんします。

〔都道府県等地域単位で算出〕



ナラシ対策による補てんのイメージ（参考例）

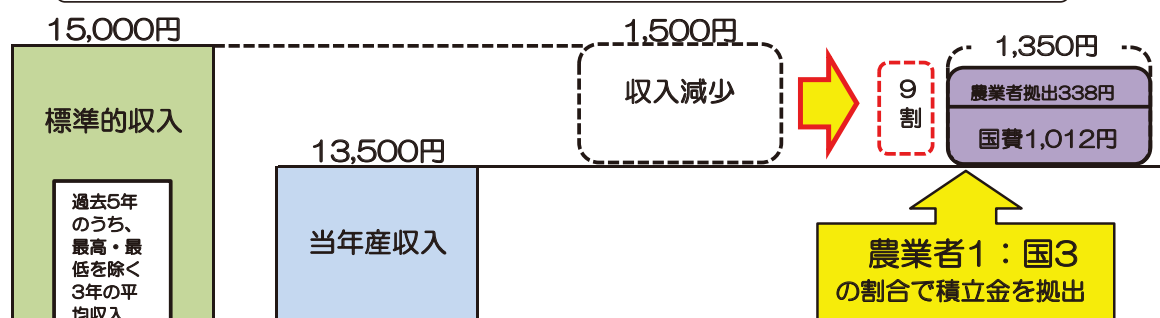
ナラシ対策は、水田経営において、10aごとの米や麦、大豆など品目ごとの収入が、都道府県単位での算定で減少した際に、その差額の9割を補てんするものですが、わかりやすくするため、米についてだけ、しかも価格下落の影響に限定して紹介します。

米60kg当たりの収入が過去5年のうちの最高と最低を除いた3年間の平均で15,000円だったとして、今年の収入が13,500円まで減少したとします。

収入減少額は1,500円ですが、ナラシ対策に加入していれば、9割に相当する1,350円が支払われます。このうち農業者の拠出は4分の1で、残りの4分の3は国が拠出してくれるという有利な仕組みです。

農業経営を安定させるために、ナラシ対策はなくてはならないものです。

仮に、標準的収入が15,000円/60kgで当年産収入が13,500円/60kgの場合



平成25年産米最終価格について

25年産米の精算が終了し、最終精算金を平成27年7月16日に入金いたしました。
今後もJAへの全量出荷にご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各銘柄ごとの最終価格表

【60kg】								
品 種	等級	JA特裁米			一般米			特裁米と一般米の価格差
		仮渡金 単 価	最終精算 単価	最終価格	仮渡金 単 価	最終精算 単価	最終価格	
コシヒカリ ミルキークイーン	1	12,540	2,160	14,700	11,740	2,160	13,900	800
	2	11,880	2,160	14,040	11,080	2,160	13,240	800
	3	10,860	2,160	13,020	10,060	2,160	12,220	800
森のくまさん	1	12,000	1,800	13,800	11,400	1,800	13,200	600
	2	11,340	1,800	13,140	10,740	1,800	12,540	600
	3	10,320	1,800	12,120	9,720	1,800	11,520	600
ヒノヒカリ	1	12,000	1,800	13,800	11,400	1,800	13,200	600
	2	11,340	1,800	13,140	10,740	1,800	12,540	600
	3	10,320	1,800	12,120	9,720	1,800	11,520	600
あきげしき	1	11,100	1,910	13,010	10,800	1,910	12,710	300
	2	10,440	1,910	12,350	10,140	1,910	12,050	300
	3	9,420	1,910	11,330	9,120	1,910	11,030	300
ひとめぼれ	1	11,100	1,890	12,990	10,800	1,890	12,690	300
	2	10,440	1,890	12,330	10,140	1,890	12,030	300
	3	9,420	1,890	11,310	9,120	1,890	11,010	300
いただき	1	11,100	1,870	12,970	10,800	1,870	12,670	300
	2	10,440	1,870	12,310	10,140	1,870	12,010	300
	3	9,420	1,870	11,290	9,120	1,870	10,990	300
にこまる	1	11,100	1,880	12,980	10,800	1,880	12,680	300
	2	10,440	1,880	12,320	10,140	1,880	12,020	300
	3	9,420	1,880	11,300	9,120	1,880	11,000	300
くまさんの力	1				10,800	1,680	12,480	
	2				10,140	1,680	11,820	
	3				9,120	1,680	10,800	
その他	1				10,260	1,990	12,250	
	2				9,600	1,990	11,590	
	3				8,580	1,990	10,570	

↑ 今回の入金単価です。 ↑

理事会・監事会報告

■平成27年度第4回理事会

日時 平成27年6月18日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
- 5月末実績報告について
- 監査報告(平成26年度決算期末監査)
 - 1)平成26年度 県条例検査回答書(案)について
 - 2)第14回通常総代会の開催について
 - 3)独立監査人の監査報告書について
 - 4)平成26年度決算監査概要書内部統制等に関する改善指示書について
 - 5)役員賠償責任保険継続加入と保険料徴収について(案)
 - 6)貸出金(地公体報告)について

- 報告事項
- 1)全般統制に関する評価報告書について
 - 2)平成27年度米麦等棚卸監査実施要領について
 - 3)アグリシードリース事業概要について
 - 4)第52回 夏の農機・自動車展示会の開催について
 - 5)2015 JA-SSドライブウェイサービスコンテスト JA阿蘇大会開催について
 - 6)要改善JA(指定区分「5」)の指定について
4. 閉会

■平成27年度第5回理事会

日時 平成27年7月6日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
- 委員会報告(経済専門委員会)
 - 1)業務報告書の行政庁への提出について
 - 2)事業のご案内2015(ディスクロージャー誌)について
 - 3)事業のご案内2015(ミニディスクロージャー誌)について
 - 4)平成27年度各理事の報酬について
 - 5)平成28年度JA阿蘇職員募集について
 - 6)職員夏期賞与支給について
 - 7)畜産近代化リース事業について

- 報告事項
- 1)常勤役員の他の団体理事等への就任について
 - 2)平成27年度座談会開催状況について
 - 3)熊本県(行政庁)による報告徴求命令について
 - 4)平成25年産米の最終精算金及び平成27年産米の出荷予約数量と出荷予約金について
4. 閉会

■平成27年度第6回理事会

日時 平成27年7月29日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
- 委員会報告(総務専門委員会・経済専門委員会・金融共済専門委員会)
- 6月末実績報告について
 - 1)平成26年度決算監事監査回答書(案)について
 - 2)全国監査機構決算監査回答書(案)について
 - 3)フリーローンモア資金の創設について(案)
 - 4)JA住宅ローン利用者専用フリーローンの創設について(案)
 - 5)特別緊急支援資金の創設について(案)
 - 6)貸出金について
 - 7)固定資産取得(阿蘇町カントリー施設・機械改修工事)における固定資産取得委員会委員(案)について

- 8)役員責任調査委員会報告について
- 9)不祥事再発防止策(案)について
- 10)役員等の定数検討について
- 11)理事の専門委員の互選について

- 報告事項
- 1)理事の辞任について
 - 2)JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の27年6月末進捗状況について
 - 3)平成27年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況(平成27年6月末)について
 - 4)平成27年度JA阿蘇不祥事未然防止のための行動計画27年6月末進捗状況について
 - 5)JAの経営状況に関する事項の報告「経営管理資料」について
 - 6)不祥事再発防止策内部監査実施状況報告書(4月～6月)について
 - 7)「熊本県産茶愛飲運動」への協力依頼について
 - 8)平成27年度総代会意見・要望について
 - 9)平成27年度土・日事故受付状況について
 - 10)第52回農機自動車大展示会について
4. 閉会

●平成27年度第2回監事会

日時 平成27年5月26日午後1時／本所2階第1会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
 - 1)平成26年度決算監事監査報告書(案)について

- 報告事項
- ①行事予定について
4. 閉会

●平成27年度第3回監事会

日時 平成27年6月1日午後1時30分／本所2階第1会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
 - 1)平成26年度決算監事監査報告書について
 - 2)独立監査法人の監査報告書
 - 3)米麦棚卸監査実施要領(案)について

- 報告事項
- ①常勤監事業務報告について(4月、5月)
 - ②常勤会議報告について(3回、4回)
 - ③日常監査結果(回答)について
 - ④行事予定について

4. 閉会

●平成27年度第4回監事会

日時 平成27年6月18日理事会終了後／一の宮中央支所小会議室

- 1. 開会
 - 2. 挨拶
 - 3. 議題
 - 1)役員責任調査委員会の設置について
 - 2)平成26年度熊本県常例検査第2回答書に対する監事の意見書について
4. 閉会

●平成27年度第5回監事会

日時 平成27年7月6日定例会議終了後／一の宮中央支所小会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3. 議題
 - 1)平成27年度監事報酬(案)について
 - 2)JAの経営状況に関する事項報告「経営管理資料」について
 - 3)平成27年度米麦等棚卸監査人員配置について

- 報告事項
- ①行事予定について
4. 閉会

平成28年度 高卒(新規学校卒業)JA阿蘇職員募集要領

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

- 1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……8名程度 農業関係技術職……2名程度
- 2. 受験資格 平成28年3月（来春）までに卒業見込みの者
- 3. 受験手続 (1) 提出書類 統一応募書類（全国高等学校統一用紙 その1、その2）
(2) 募集締切日……平成27年9月7日（月）必着
(3) 応募書類提出及び問い合わせ先
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967-22-6111 担当：河津・阪本
(4) 応募方法 ア. 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。
尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
イ. 学校を通じ申し込むものとする。
- 4. 試験の日時・場所及び内容
(1) 第1次試験 日時：平成27年9月18日（金）午前9時15分から午前12時15分
(受付：午前8時30分～9時00分)
場所：JA阿蘇 一の宮中央支所
内容：基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式
適性検査及び作文
(2) 第2次試験 日時、場所：第1次試験合格者のみに後日通知します。
内容：面接試験
- 5. その他 (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
(2) 受験のための費用は支給しません。

平成28年度 高卒(既卒)・専門学校・短大卒・大卒JA阿蘇職員募集要領

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

- 1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……7名程度 農業関係技術職……3名程度
- 2. 受験資格 昭和60年4月2日以降出生の者で平成28年3月（来春）までに卒業見込みの者。但し、平成28年3月新規学校卒業見込み者（高校在学中）については別途求人票による。
- 3. 受験手続 (1) 提出書類 ア. 履歴書（JIS規格）……1通（写真付）
イ. 写真（3×4cm）……1枚
(履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入)
ウ. 学校成績証明書
エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書
(2) 募集締切日……平成27年9月7日（月）必着
(3) 応募書類提出及び問い合わせ先
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967-22-6111 担当：河津・阪本
(4) 応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
- 4. 試験の日時・場所及び内容
(1) 第1次試験 日時：平成27年9月18日（金）午前9時15分から午前12時15分
(受付：午前8時30分～9時00分)
場所：JA阿蘇 一の宮中央支所
内容：高 校（既卒）… 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）
マーク式適性検査及び作文
短大卒 … 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式
適性検査及び小論文
大学卒 … 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式
適性検査及び小論文
(2) 第2次試験 日時、場所：第1次試験合格者のみに後日通知します。
内容：面接試験
- 5. その他 (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
(2) 受験のための費用は支給しません。

シロアリは 木材(家)を食べます。



シロアリの主要食物は木材です。
床下の束柱や床上の柱はもちろん畳や
紙も食害します。
家の基礎がコンクリートだからといって
油断は出来ません。
わずかな隙間から穴を開けて
侵入してきます。

熱っておくべ
床下が
あぶない!!

シロアリ

土の中を移動し、床下から蟻道を作り建物に侵入し
て木材等を食害します。とても注意深く、土の中や
木材の中で、一年中活動をしています。



羽アリは、シロアリがいる証拠です!
すぐにお近くのJAまでご連絡ください!

羽アリ

春から初夏にかけてシロアリの一
部が新しい巣を作るために羽アリ
となって飛び立ちます。この時期
が発見の大きなチャンスです。

シロアリ防除のご相談はJAへ

床下無料調査実施中

無料で床下点検・点検結果の報告を行い、お
客様にあった防除をお勧めします。その後、
お客様から申し込みがあった場合に、有償に
てJA取扱業者が防除を行います。



お申込み・お問い合わせはお近くのJA(農協)へ